

学校だより

修業式号



三
中
HP
QR
コード

それゆけ三中

教育目標：より確かに・より豊かに・より遅しく

令和5年3月24日

足利市立第三中学校

生徒数：212名

発行者：高木秀和



川べりやあぜ道沿いには菜の花が揺れはじめました。通り過ぎる景色の中に、春の色と香りを見つけ立ち止まることが多くなりましたが、まだ寒さの残る学期終盤には、廊下と教室のワックスがけを行い、一年間お世話になった生活の場を整えました。また、資源の有効活用を目的にした資源回収も3月の最終回を迎え、この一年間のご協力に感謝申し上げます。今年度も、生徒の皆さんは先生方と共に、「できないではなく、何ができるかを考え行動する」という前向きな姿勢で、体育祭、合唱コンクール、予餞会、各行事等に取り組み、第三中学校の教育目標である、「より確かに・より豊かに・より遅しく」を生徒全員で実現しました。心から感謝の言葉を贈ります。一年間、本当にありがとうございました。



第3学期 修業式 生徒代表の言葉

堂々と素直な発表でした【発表内容の要約】

1年2組 ■さん 授業の予習や復習、テストの解き直し等に力を入れ定期テストで良い結果を出せた。英検にも2回連続で合格。目標を達成できたのは自主学習のおかげ。2年生になっても英検のより高い級に挑戦し、テストでも良い結果を出せるよう頑張る。合唱や体育祭ではクラスで団結して頑張った。新しいクラスでもみんなで協力していろいろな行事を頑張りたい。

2年2組 ■さん 頑張ったこと2つ①英語と数学の勉強を、3学期に力を入れ、はじめは大変だったが、どんどん理解できるようになった。②あいさつ、地域の人、先生だけでなく旅先で会った人にも、明るく相手にしっかり伝わるあいさつを心がけ、一日一日を良い気持ちで過ごせた。「努力をすることで夢になるためのスタートラインに立つ事ができる」を信条に頑張る。



卒業式 3/10(金)



先輩のために1、2年生が体育館や校内各所を前日、当日と一生懸命に整え準備をしました。卒業生は皆、卒業証書授与の呼名に、「はい」と3年間の想いと感謝をのせて、会場の家族と先生、友人に巣立ちの返事を届けてくれました。また、■さんの先輩を思う気持ちが溢れた送辞に続き、■さんの答辞では、友への思いを語る中込み上げる感情に、卒業生も頬を濡らし、保護者やご来賓、教職員も目を赤くしました。「旅立ちの日」の合唱では、33さん、33さんの呼びかけでさらに思いは高まり、その歌声に3年間の全てが凝縮されていました。ご来賓の方々も、式の素晴らしさを口々語ってくださいました。静粛な雰囲気の中での卒業生の真摯な姿は第三中学校の誇りであり、伝統となっていくことを願っています。



表彰 修業式にて表彰しました。努力の軌跡、栄光を称えます。おめでとうございます。

栃木県中学校体育連盟 優秀選手 体操競技 ■ 足利市中学校体育連盟 優秀選手 水泳 ■

第74回足利地区書初中央展 金賞 ■ 第74回足利地区書初展 金賞 ■ 入選 ■

佳作 ■ 下野教育美術展 デザインの部 銀賞 ■ 奨励賞 ■

■ 小中学校図工美術展 金賞 ■

防火標語入選 ■ 第62回青少年作文佳作 ■ 青少年健全育成非行防止標語優秀賞 ■

はたらく人に学ぶ会 2/3(金)

キャリア教育として、1年生は保育士、自衛官、スポーツ関係、クリエイティブデザイン関係、コンピュータ関係の仕事



に携わる6名の講師から実際の仕事について学びました。現場での様子や、仕事に必要なスキル、そして、中学生としてこれからどのような準備、心構えが大切かなど皆熱心に聴き、質問も活発でした。

金融教育出前事業 2/10(金)

2年生は社会科の学習として、人生設計をゲームを通して学ぶ出前授業を受けました。すごろく形式のゲームを楽しみながら、給与を支給されたり、家を建てたりしながらお金をどのように使い、蓄えていくべきかを体験しました。ライフステージに合わせた設定で、今回は社会人1年目をスタートに、ゴールの定年退職までの人生を進みながら、生活上のトラブル回避や、よりよい暮らしのために備えることなどのアドバイスもいただきました。



進学説明会 2/6(月)

3年ぶりに本校体育館での開催ができました。入学予定の6年生が市内から集まり、生徒会本部役員さんと生徒指導の先生から学校生活について、先生からは事務関係の説明を聞きました。授業見学や、部活動も見学でき、第三中学校と生徒皆さんをよりよく知ってもらえたと思います。



学校評議員会 2/16(木)



第2回学校評議員会を開催しました。授業を見ての感想もいただきました。授業見学中に、教室に掲示されていた「私を感じる、美しいもの」という国語の授業での1年生の文章に評議員さんたちは足を止めていました。皆さんのユニークな視点、今も昔も変わらない普遍的な価値観、



季節やはかなく移りゆく空模様などを綴る文章を読んで、「皆、澄んだきれいな目と心を持っていますね、とてもうれしく安心しました」と大変ありがたいコメントをいただきました。ポッと心に日が射すようでした。

足利市立美術館訪問

1年生と特別支援学級1組は美術の授業で美術館を訪問しました。行道山の「くものかけはし」を描いた葛飾北斎の浮世絵をはじめ、美人画、浮世絵を現代風にアレンジした作品、期間限定でのシャガール、ルドン、ピカソ、モネの四作品が展示され、本物をじかに見るという幸運に恵まれました。学芸委員さんの説明でより深く作品を鑑賞できました。



春と夏を迎える準備がはじまりました



特別支援学級では、春と夏の収穫にむけての準備を進めています。今年度も、先生、先生、先生と様々な体験学習を実践してきました。特に、ものづくりや調理はバラエティに富んでいます。その土台となるのが畑です。感謝の気持ちを込めて草むしりをし、土を耕して実りを願います。

国際交流 姉妹都市締結30周年記念

アメリカのイリノイ州、スプリングフィールド市との姉妹都市交流30周年を記念して、作品交流を行いました。本校からは、書道、絵画、英語スピーチ原稿を贈り、スプリングフィールド市のサンドバーク・スクールからは絵画と写真アートをいただきました。空輸便で学校に届いた作品は、



アメリカからの作品



本校が贈った作品

という視点の違いなど、その発想に自由の国アメリカを感じます。本校の作品も、日本らしさをその中に宿し賞賛されているでしょう。

第三中学校から贈った作品作者(敬称略)

書道

絵画

アニメ模写

アート写真

英語スピーチ原稿

修業式講話より 座右の銘

●座右の銘とは、いつも自分の身近に書き記して、自分の戒めとし、自分をやる気にさせる言葉のことです。簡単に言うと、自分が生きていく上で大切にしている言葉のことです。●3学期が終わり、春からの新しい生活のスタートです。スプリングはポヨンと跳ねます、土の中から植物の芽や、冬眠していた動物、虫たちが地上にとびだしてくるイメージから春をSpringと言います。地中から噴き出す温泉は、Hot springです。●春は、自然もとびだす季節ですから、「よし、やるぞ」という新鮮な気持ちになる人も多いと思います。逆に不安ばかり膨らんでしまう人もいます。やるき満々の人は、地面の中から芽を出す花のようにバツと咲いてください。不安ばかりの人は、焦らず、ゆっくりしてください。●やる気の人、不安な人も、時として、ある言葉に出会い、その言葉が自分のやる気をさらに高めたり、不安な気持ちを和らげてくれたり、さらには、自分の物の見方や考え方を広げてくれます。考え方一つで、パワーアップしたり、気持ちを立て直したりできることもあります。お金も、時間も、努力もいらない、物事の見方をちょっと変えられればいいんです。●しかし、すごく自信満々に張り切っている時や、ものすごく落ち込んでいる時、どちらも極端な状態の時に、新たな言葉は耳に入ってきません。だから、平常な気持ちの時、普段の生活の中で、自分を支えてくれる言葉を見つけて、自分の居場所の近くに、紙に書いて貼っておくのもいいと思います。まさしく、座右の銘です。座右の銘の由来の一つに、中国の南北朝時代、「文選」という詩集のなかに「座右銘」という文章が収録されており、これが語源であるという説もあります。その元となる文章を書いた崔瑗さんは、自分の机の右横に「他人の短所を責めてはいけない」、「自分の長所を誇ってはいけない」、「人に恩を施しても、その恩返しを期待してはいけない」、「自分が恩を受けたら、いつまでも忘れてはいけない」と4つの句を貼って自分の行動を戒めたそうです。このように、自分を支えてくれる言葉と出会えるといいですね。そして、この言葉、響くというような出会いがあったら、是非、その言葉や言葉を発した人物について調べてみてください。より肉付けされたエピソードなどにより、さらに言葉の力が増すこともあれば、思っていたのとイメージが違うということもあります。自分を支えてくれる言葉の意味を理解しておくことは大切です。ちなみに、「初心を忘るべからず」という言葉は有名ですが、一般に知られている意味と実際の意味は少し違います。室町時代に能楽を大成した世阿弥の言葉です。興味があったら調べてみてください。●この第三中学校の図書室にも、座右の銘を見つけられそうな本がたくさんあります。「91日本の文学」という印がある本箱の上に、「きみを変える50の名言」や「心にひびくマンガの名言」などあります。何気なく友達が言った言葉、先生の言葉、学級通信、映画やアニメのセリフ、朝読書の本など、たくさんの素敵な言葉に囲まれて、私たちは生活しています。必要なのは、その言葉に気づくか、心を揺さぶる言葉に出会えるかです。節目の春、スタートの時、「座右の銘」ということをちょっと気にとめておいてください。終わりに、私の座右の銘は、「弱さこそ強み」というシンプルな言葉です。これは、弱虫ペダルというアニメの中で、手嶋純太という選手が言った言葉です。「自分の弱さを知っているからこそ、何をすべきか考え、実行して強くなるんだ」という力強い言葉です。



こうてい

あしあと

ゆき

つち

こえき

いぬさ

かこ

校庭に 足跡ぐるり 雪に土 声消え犬去り だるまを囲む

